下野コミュニティエフエム第32回放送番組審議会議事録

開催日時：2025年12月11日14時00分より	開催場所：国分寺公民館第202会議室
出席委員：猪瀬・川俣・鈴木・本橋	┆５名

※発言については趣旨を変えない範囲で一部を省略・要約し、順不同で記載しています。

委員全５名のうち４名の出席をもって会の成立とし、14時00分に開会した。

１．報告事項

事業者より前回審議会以降の運営について報告があった。

・「下野市産業祭」に合わせ、11月16日に「しもつけピタッとラジオ」特別出張放送を、下野市と連携して会場の大松山運動公園にて実施した。
・Ｊアラートによる防災ラジオの起動試験を11月に実施し、無事に完了した。
・10・11月は地域で催事が多く、出来る限り取材して放送している。
(ケーブルビジョン株式会社ラジオ事業部放送局長)

２．審議事項

■議題①…番組内容について

事前に送付した資料(記録物)を各委員が聴取し、それに対して各委員が意見を述べた。
※2025年11月16日放送「ＦＭゆうがおオータムスペシャル」

事業者：
（番組の説明）

本橋委員：
・開局の年に生まれた人にインタビューしたのが良かった。
・インタビューの音質が良くなく聴きづらかった。機材の関係か。
・楽曲の後にＢＧＭを入れずにトークした方が臨場感が伝わったのではないか。
・駐車場の混雑状況や臨時バスの運行の情報を入れれば良かった。
事業者：
・インタビューの音質については通常の携帯電話回線を使用しており音質は良くないが、聴きやすくなるよう改善に努めたい。
・ＢＧＭは流している間に準備をする余裕を作っているのと、放送事故を防ぐため。
・駐車場や臨時バスの情報はこの前の時間では入れていたが、この時間では催事の終了が近かったため割愛した。

猪瀬委員：
・
・盛況さが伝わり、会場内の注意事項を伝えていて、来場者への注意喚起になっていた。
・鉄道運行情報が入っていたが、遠方の情報であり必要なかったのではないか。
事業者：
・鉄道運行情報は市民に関係する路線や区間について入れている。遠方でも地元に影響が出ている場合が多く、今回に関しても必要と判断した。

川俣委員：
・ラジオは音質が重要であり、インタビューの箇所は音質が悪く、聴くのを止めてしまう人もいたのではないか。インタビュー対象者にブースまで来ていただくのも手ではないか。
・多くの人が集まる場所であるので、「知っていますか」・「聴いてください」といった普及拡大のキャンペーンのようなものを実施してはどうか。
事業者：
・キャンペーン的なものについては今後検討したい。

鈴木委員：
・催事での特別番組がこれまでの積み上げであるのか、手慣れた感じで進行され良かった。
・インタビューの企画は、特に子供を出すとその親や祖父母が聴いてくれる可能性があり、良いかと思う。
・インタビューの音質に関しては工夫が必要ではないか。

■議題②…その他の事項について
・聴取者の年齢層と番組内容について委員より質問があり、事業者が回答した。

３．その他
・次回の開催日時を事務局より提示した。

以上、15時00分に閉会した。

下野コミュニティエフエム放送番組審議会